

飛行船

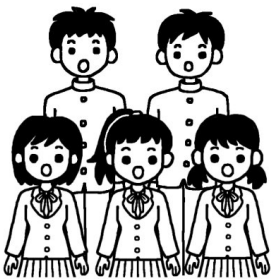


合唱コンクールに向けて

10月6日から合唱コンクールに向けての練習が始まりました。昨年2・3年生の歌声にびっくりしたよね。今年は君たちがビックリさせる番です。

歌はひとり一人の身体が楽器です。ひとり一人身体の大きさが違うので、同じ声を出すことはとても難しいことです。ひとり一人を互いに尊重しながら1つの曲を歌う。互いに協力しながら、ひとり一人が自分の役割を感じて歌う。そうみんなで曲を創り上げる。みんなで奏でる。そこに合唱の魅力があるんだと思います。

「歌を歌う」「人前で歌う」ということが苦手な人もいるでしょうが、そういうことも含めてみんなで音楽を創り上げるところに、私たちの成長のきっかけがあるんじゃないかな。と思っています。



詞を読む

詞は「ことば」です。「ことば」には魂が入っています。詞を読み、想像できるイメージをふくらませ、ことばに乗せて表現できるといいね。課題曲「自分らしく」今の多感な自分と重ねられるかな。自分とは何か。自分らしくとは。そんな答えの見つからない自分。見つけられ

発声胸開き背筋伸ばして

発声の基本

- ♪姿勢は胸を開いて、背筋を伸ばす。
- ♪笑顔で、明るい心で
- ♪体が楽器、ならず弦は外に
- ♪口の中ではなく、のどの奥を広げる
- ♪体の中心に直径25cmの筒が通っているイメージ
- ♪腹式呼吸で、丹田からエネルギーを送り出す

日々の心がけ

- ♪話すときも、美しく、よく響く声で
- ♪大きな深呼吸で腹筋を鍛える

一番自然で美しい声の出し方は、イタリアで生まれたベルカント唱法(オペラなどの本格的な歌い方)

まずは基本の姿勢。胸を開いて、姿勢を伸ばしてまっすぐに立つ。「私の胸を見て見てという威張る感じ。そうすると背筋が弓のようにそり、お尻もあがって下腹もへこむ。

体は常に柔らかくのびやかに動かす。「3倍大きな体になったイメージで、両手を上げると、大きな鳥になって飛んで行きそうな感じ」。ただし、軸がぶれないことが大切。「体の中心に25cmの筒を通すイメージ」

ない自分。でも信じるしかない自分。自分の自分だけの「あこがれ」に向かって歩み続ける自分。そんな自分。カッコイイ自分が表現できるといいね。同じ曲を演奏するのにそのクラスらしさが出てきますよね。どんなコンクールになるのか。どんな自分らしさを表現してくれるのか楽しみです。

2年合唱コンクール課題曲

「自分らしく」

自由曲

- 1組 「大切なもの」
- 2組 「My Own Road」
- 3組 「涙をこえて」
- 4組 「きみにとどけよう」

ひとつひとつ

先週ノーベル賞の受賞報道がありました。3年連続で日本人が受賞したことが大きく報道されました。受賞された大隅教授は「私は人がやっているテーマで競争するより、やらないことを選んで自由に研究することを望む」と語り、「科学が社会に役に立つのは100年後かも」と語った。今も顕微鏡を毎日のぞき、研究を続けられている。基礎科学という分野での受賞。一朝一夕では成果のでない研究に対しての受賞は「ひとつひとつ」の積み重ねの大切さを考えさせられました。昨年・一昨年の受賞者もまた、基礎的な研究に力を注ぐことを望むと話されたそうです。

ひとつのことを一途に追求する姿に心が打たれますよね。受賞されてもその後の姿勢は変わらない。中学2年生を生きる君たちは何を指すのでしょうか。自分を信じて、今すぐには役には立たない、自分にとっての基礎的な取り組みを一途に取り組んで欲しいな。